

令和6年度第1回幕別町次世代育成支援対策協議会会議録

1 日 時

令和6年7月18日（木）19：00～20：35

2 場 所

幕別町役場 2階 2-A、B会議室

3 出席委員 13人

阿部委員、久保委員、八木沼委員、伊澤委員、前川委員、國安委員、若原委員、岡田委員、小笠原委員、杉山委員、矢崎委員、吉田委員、三石委員

4 欠席委員 2人

西山委員、山西委員

5 町出席者 8人

事務局：亀田保健福祉部長、川瀬こども課長、北原保健福祉課長、佐々木こども支援係長、鈴木保育係長、菅原福祉係長、阿部主事、佐々木

6 配布資料

資料1-1～2 子どもの権利に関する条例、子ども権利に関する条例（逐条解説）

資料2 第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画評価シート
第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画書

資料3-1～3 幕別町こども計画の策定について（諮問）、こども大綱（パンフレット）

資料4-1～2 幕別町子ども・子育て支援に関するアンケート調査【集計表】

資料5-1～2 子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」算出方法について

資料6-1～2 子ども・子育て支援事業計画に係る「量の見込み」及び確保の内容について

資料7-1～3 幕別町子ども・若者意識調査の実施について

子ども・若者意識調査（案）（10～14歳、15歳～39歳用）

7 内 容

(1) 開 会

川瀬こども課長より、欠席委員について報告。

(2) 委嘱状交付

飯田町長より委員へ交付。欠席した委員には、後日交付予定。

(3) 町長挨拶

快く委員を引き受けていただいたことにお礼を申し上げたい。本協議会の役割は、市町村計画の策定と推進、管理についてと子どもの権利に関することであり、現行の計画が本年度をもって終了することから、次期計画の策定について、後ほど諮問させていただくので、委員の皆さま方のお力添えをいただきたい。

- (4) 委員紹介
出席委員の自己紹介。
- (5) 事務局紹介
川瀬こども課長より紹介。
- (6) 議事 (①飯田町長の進行、②～⑧は伊澤会長が進行し、資料の説明については、佐々木こども支援係長から行った。)
- ① 会長選出
- ・ 選出方法について、岡田委員から指名推薦が提案され、全委員同意。
 - ・ 岡田委員が、長年主任児童委員を務められ見識の深い伊澤委員を推薦し、全委員同意。
 - ・ 飯田町長から会長に対し幕別町こども計画の策定に係る諮問を行った後、飯田町長退席。
- ② 副会長選出
- ・ 選出方法について、前川委員から会長による指名推薦が提案され、全委員同意。
 - ・ 伊澤会長が岡田委員を推薦し、全委員同意。
- ③ 幕別町子どもの権利に関する条例について (資料1-1~2)
- 平成22年4月1日に条例を制定し、同年7月1日から施行している。
- この条例では、子どもにとって大切な権利を明らかにし、子どもを取り巻くすべての人や団体の責務等を定めることで、子どもの健やかな育ちを社会全体で支援するまちの実現を図っている。
- また、子どもの権利の普及・啓発活動として、広報紙による周知や児童へのパンフレットの配布を行っていることに加え、町内の小学校に通う児童を対象に、令和元年度から絵画コンテストを実施している。
- ④ 第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画について (資料2)
- 子どもの健やかな育ちを社会全体で支援する環境を推進するため、令和2年度から5年間を計画期間とする「第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画」を策定し、計画の基本理念である「すべての町民が支えあい、子どもの豊かな心と生きる力を育むまち」を達成するために、計画に掲載している全97事業に取り組んでいる。
- ⑤ 幕別町こども計画の策定について (資料3-1~3)
- こども基本法が令和5年4月1日に施行され、市町村は、「こども大綱 (同年12月に閣議決定)」を勘案し、「市町村子ども計画」の策定するよう努めるものとされ、こども家庭庁から、令和6年5月に「自治体こども計画策定のためのガイドライン」により、市町村は、地域の実情に応じた自治体こども計画を策定するよう依頼があった。
- また、こども計画は、同法の規定により、既存の各法令に基づく市町村計画と

一体のものとして作成することができるとされている。

本町においては、「第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画」が令和6年度をもって計画期間が終了することから、次期計画を策定するところであるが、計画の対象者に「青年・若者」を加え、就業支援、引きこもり支援、障がいのある若者への支援等、既に事業化しているメニューを中心とする「子ども・若者計画」と既存の「子ども・子育て支援事業計画（貧困対策推進計画内包）」を内包し、こども施策を一元的に定め、町民に対してわかりやすい「幕別町こども計画」を策定することとする。

⑥ 幕別町子ども・子育て支援に関するアンケート調査の集計について（資料4-1~2）

20頁問16-0-72「子育て支援情報誌（まくはぐ）を今後利用したい」の利用したい方が15.8%となっており、前回調査が50.5%であることから比較すると大幅な減となっているため、今後の在り方について検討が必要である。

⑦ 市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」について（資料5-1~2）

資料4-1のニーズ調査の結果を基礎データとし、国が示した考え方にに基づき資料5-1~2のとおり算出した。

算出した量の見込みは、実績と乖離している事業があることから、今後の会議において実績等を勘案し、補正を行っていく。

（質疑）

○ こども家庭センターとはどのような機能がある事業なのか。（小笠原委員）

→ 既存の妊産婦や乳幼児の相談を受ける母子保健機能をもった「子育て世代包括支援センター」と虐待や支援を必要とする子育て家庭の相談を受ける児童福祉の機能をもった「子ども家庭総合支援拠点」が一体となり、全ての妊産婦、子育て家庭、こどもを対象に切れ目のない相談・支援を行う事業である。（佐々木こども支援係長）

⑧ 幕別町子ども・若者意識調査の実施について

「幕別町こども計画」の策定にあたって、計画の対象となるこどもや子育て当事者等の意見を幅広く徴収し、こどもや若者を対象とした状況やニーズをよりの確に把握し、実効性のある計画とするために行うものであり、国が実施した「こども・若者の意識と生活に関する調査」を参考に対象範囲及び質問項目を設定した。

なお、回答については、インターネットによるもののみとする。

（質疑）

○ 10歳から14歳を対象としているが、各家庭のインターネット環境等は整備されているのか。（前川委員）

→ 町内全児童生徒には、学校からタブレットが配布されているほか、Wi-Fi環境がない家庭については、ポケットWi-Fiの貸し出しもされており、調査

期間中は夏季休業期間であることから、自宅にタブレットを持ち帰ることを確認している。(佐々木こども支援係長)

(7) その他

次回の会議は8月下旬を予定しているため、よろしく願いしたい。

(佐々木こども支援係長)

20 : 35閉会